



アンケート

「あなたは最近同志社を訪問されて、どんな感想をおもちでしたか」

○続木馨（昭和二年経済科卒業 インドネシアに多年在住、亜南産業社長）

今般インドネシア国から久し振りに帰国して、リユニオンでは遠隔地よりの参加者として一等賞をいただきました。創立九

十週年を前にして母校は次々と新校舎が建ち、昔日の淋しい面影今いずこという有様であります。ここでご一考願いたいことは、A A諸国の指導的立場にあるべき日本国の進取的学園同志社として、海外進出適任者の養成は、もちろん、さらに一歩前進して、それらの身近な管の後進国からの留学生に積極的な門戸開放の実行こそ、創立者たちの進歩的世界観を継承する所以でもあります。また同時に百年の大計となるであろうこと。

○ミス・アナベルト・タカハシ（ハワイ大学学生、日本語専攻、ホノルル在住）

われわれの旅行団が同志社を訪問したとき、多くのニュー・イングランド様式の建物や、みどりの芝生を見ておどろき、かつ、うれしうございました。そのうえに、同志社とアームスト大学との関係、新島先生がこの学園をたてられたことを聞いて非常に印象づけられました。短時間の訪問のため、授業のおこなわれている教室を見ることはできなかったけれども、おそらく同志社は学問的な雰囲気に関するかぎり、米国のどの大学とも比較しえられるものと思ひ

人物往来

阿部賢一氏（校友、東京都公安委員） このほど早稲田大学評議員会長に就任。

西村清雄氏（校友、松山城南高校名誉校長） 讃美歌「やまじこえて」の作者。松山市名誉市民に推薦された。

鳥居昌治氏（大学ヨット部監督） 全日本選手権総合で昭和三十五年から連続三連勝というヨット史上初めての金字塔をうち立てた。

千 宗興氏（法人評議員、裏千家宗匠） 十一月四日から十一日まで香港で開かれた第十七回国際青年会議所世界大会で国際青年会議所の次期副会頭に選ばれた。日本から副会頭が選ばれたのは同氏が二人目。

我妻 誠（文学部二回生） 古賀久猷（法学部二回生）両氏は、十二月四日、京都市内の大学に学ぶ優秀なアルバイト学生に贈られる「山崎賞」の本年度受賞者として、学生援護会から発表された。

岸田 享氏（校友、京都中央市民病院事務局長）同志社社会福祉クラブの代表幹事に就任。
納屋嘉治氏（校友、淡交新社々長）十月十二日京都青年会議所理事長に就任。

ます。

○ジェーン・M・ワラー（シンガポール大学、図書館司書）

私は司書として、もちろん、図書館にもっとも興味をもっていたのですが、同志社を訪問した日がたまたま休日であつたので、開館されている状態を見ることができず残念でした。しかし日直の親切な館員の方にお会いし、その案内でだいたいの印象をうることができました。ただ一言、とくに申しあげたいことは、建物が古くなつていて十分な広さがないことでした。その訪問二日まえに、東京の国際キリスト教大学のりっぱな、近代的な図書館を訪れました。承ると同志社も新しい図書館が建設されることですが、ICUにまさる計画が実現されることを期待します。そしてこの二大図書館が、日本の土地にめばえたキリスト教教育の、よき証左となることを願ひたいします。

テリサ・W・ウッド教授（ブルックリン

大学、ニューヨーク市立大学、経済学）

オースチン・B・ウッド教授（同大学、

心理学）

一、四回生が就職運動をしなければなら
ない不況に暗い気持ちになりました。全学生
が職業指導や就職相談により、なお一層の
助力が与えられることを望みます。私たち
自身、大都市の大学教授として、すべての
学生が大学に入学してから、卒業後どんな
仕事をするかということ、確実に、しか
も正確に明言しうるものはないことを知っ
ています。しかし、教科科目の選択性によ
り、学生たちはいろいろの学問をすること
ができ、それぞれ最善の能力を発揮するこ
とにも、計画者、思索者、又は実行家とし
て最大の満足感をうることができるや否や
を試みるができます。日本のように拡大
大しつある産業社会においては、「全人
格の教育」や、精神的、社会的、政治的又
は人道的可能性の発達のためには、まだ余
地があるように思はれます。

二、日本の学生たちが学年の大部分の間
に今以上にげみ、学生教授間により以上
の交流のあることを望みます。学生時代以
上に「知的筋肉」を発達させるために自由
に、読書し、学問し、考えうる自由をもつ
時代はありません。

小西明氏（大学自動車部監督）三十三年オ
ーストラリア一周モービルガス・トライアル
にトヨペットに乗って出場。毎日新聞主催の
一〇〇時間ノンストップ・エコランに優勝し
た大学自動車部監督。

西村裕通氏（経済学部教授）京都府民政労
働部の労働問題研究委員に就任。

藤井正三氏（校友、藤井大丸会長）京都府
の労研委員に就任。

岩田宗五郎氏（校友・岩田山自然遊園地園
長）同氏は「嵐山ニホンザル」の研究に力を
合わせた間直之助氏（京大理学部研究員、理
博）とともに、十一月、第六回「京都新聞文
化賞」をおくられた。

吉田法晴氏（校友・福岡から参議院議員（社
会党）に選出されていた同氏はこのたび議員
を辞し推されて北九州市の市長選挙に立候補
することとなった。

西村五郎氏（校友、クレパス校商會取締役）
このほど大阪青年會議所の副理事長から、十
三代目の理事長に就任。

松好貞夫氏（校友、都立大学教授）岩波新
書「天保の義民」を出版された。既刊に「村
の記録」「大岡と百姓」がある。